

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地1
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



▲ 碧海信用金庫 御園座隣り
隈研吾設計

木を感じ、森に還る

日本の木造が小径木(直径が4センチ未満の細い材木)文化だからこの木造建築を普及させようとした。

日本の木造の歴史をどうとらえるか、日本人の契約の精神ともつながる。

木でつくる。

建築家 隈研吾氏が「名古屋の街を木でつくる」スタイル



▲ 浅草文化観光センター
隈研吾設計



▲ 西日屋東出通り
隈研吾氏設計

2019年完成予定の新国立競技場の整備事業をはじめ、近年木を多用した大規模建築や公共施設が注目を集めている。

心地よい空間を生み、森林資源の活用にもつながる新しい木造建築が東京の街を変えていく。同時に名古屋の街も変わり始めた。



▲ 浅草文化観光センター
隈研吾設計



御園座が変りました。隈研吾設計



御園座が19年完成。小径材の居酒屋「大まぐ」飲みに行きました。